

# 「三中学校だより 2月 臨時号」 令和5年度「生徒・保護者・教員 アンケート集計結果」より

校長 植村 多岐

生徒・保護者・教員の三者を対象に 17 項目の内容をできる限りそろえた設問で今年も昨年度に引き続き SNS (Forms) を活用しアンケートを実施しました。下の表が三者の集計結果です。

青 80%以上・黄 70%以下

## 《学校評価生徒・保護者・教員アンケート集計の比較》

保護者アンケート設問		A	B	C	D	肯定的	否定的	生徒アンケート設問		A	B	C	D	肯定的	否定的	教職員アンケート設問		A	B	C	D	肯定的	否定的
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。	46%	33%	12%	9%	79%	21%	1	学校に行くことが楽しい。	39%	41%	13%	7%	80%	20%	1	不登校への対応や個に応じた生活指導など、すべての生徒が楽しく学校生活を送れるような配慮や指導の工夫をした。	63%	25%	6%	6%	88%	13%
2	授業において、教員の努力や授業改善の姿勢を感じる。	20%	55%	16%	5%	75%	22%	2	学校の授業はわかりやすく、学ぶ楽しさを感じる。	24%	47%	24%	5%	71%	29%	2	授業改善に心掛け、年1回以上研究授業を実施した。	56%	25%	6%	6%	81%	13%
3	お子さんは、授業中生徒間で話し合い、発表する等の活動に積極的に取り組んでいる。	21%	43%	22%	9%	64%	31%	3	生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深め、広げることができている。	35%	43%	18%	5%	78%	22%	3	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業に取り組んだ。	56%	31%	13%	0%	88%	13%
4	お子さんは、積極的にiPadを使って学習を行っている。	17%	40%	28%	13%	57%	42%	4	積極的にiPadを使って学習を行っている。	35%	39%	19%	7%	74%	26%	4	積極的にiPadを使った授業に取り組み、生徒にはミライシート等にも取り組ませた。	38%	44%	19%	0%	81%	19%
5	お子さんは、言われなくても進んで家庭学習(塾や習い事を除き)に取り組んでいる。	21%	28%	25%	27%	49%	52%	5	言われなくても毎日家庭で学習する習慣ができている(塾や習い事を除く)。	14%	32%	34%	19%	47%	53%	5	家庭学習の習慣を確立させるための指導を行い、工夫した。	19%	44%	38%	0%	63%	38%
6	お子さんは、自己の体力向上のために意欲的に取り組んでいる。	28%	33%	21%	18%	61%	39%	6	体力向上チャレンジ等、日常生活の中で、自己の体力向上のために主体的に取り組んでいる。	27%	37%	22%	14%	64%	36%	6	生徒の体力向上を意識し、積極的に取組んだ。	38%	19%	25%	19%	56%	44%
7	教員は、お子さんをよく理解し、よいところを認めてくれている。	41%	41%	10%	8%	81%	18%	7	先生は、あなたのよいところを認めてくれている。	38%	47%	12%	4%	84%	16%	7	一人一人の生徒を認め、生徒のよさや力を引き出す指導ができた。	44%	44%	6%	6%	88%	13%
8	お子さんは、家庭や学校、地域の中で挨拶ができている。	35%	42%	14%	8%	78%	22%	8	学校や家庭、地域の中で、自ら進んで挨拶をしている。	43%	40%	14%	3%	83%	17%	8	挨拶ができる生徒を育てるために、自ら進んで挨拶をしている。	81%	13%	0%	6%	94%	6%
9	お子さんは、時間を守る・身だしなみを整える等の決まりを守ることができている。	34%	41%	15%	9%	75%	24%	9	時間を守る・身だしなみを整える等の決まりを守ることができている。	49%	34%	13%	4%	84%	16%	9	時間やきまりを守る。身だしなみを整える等の基本的な生活習慣の指導を学年・学級を通して行った。	56%	38%	0%	6%	94%	6%
10	学校は、日常の教育活動を通じて、いじめのない学校づくりに努めている。	22%	58%	8%	7%	80%	16%	10	いかなる理由があっても「いじめは絶対にいけない」という気持ちをもっている。	70%	21%	5%	4%	91%	9%	10	人権尊重の教育を常に意識し、いじめを未然防止や思いやりの心を育む指導ができた。	50%	38%	0%	6%	88%	6%
11	学校では、学習や行事等を通して生徒に将来の夢や目標をもたせ、将来の自立に向けた教育をしている。	19%	56%	16%	7%	76%	22%	11	年度初めや学期初めに自己の目標を定め、努力したり、自分の将来や夢の実現について考えている。	34%	40%	19%	7%	74%	26%	11	学習や行事等の日々の教育活動を通して、夢や希望をもたせ、将来の自立に向けた指導を行った。	50%	44%	0%	6%	94%	6%
12	お子さんは、体育祭や音楽会等の学校行事に意欲的に取り組んでいる。	54%	26%	6%	13%	80%	19%	12	体育祭や音楽会などの学校行事に意欲的に取り組んでいる。	58%	30%	9%	4%	88%	13%	12	体育祭や音楽会の学校行事を通して、人間関係づくりや自尊感情の向上に取り組んだ。	69%	19%	0%	6%	88%	6%
13	お子さまは、生徒会活動、委員会活動、係の仕事等に意欲的に取り組んでいる。	43%	32%	12%	12%	75%	24%	13	生徒会活動や委員会活動、係の仕事等に意欲的に取り組んでいる。	44%	38%	11%	7%	82%	18%	13	生徒会・委員会・行事の委員やクラスの係活動等を通して、生徒の主体性を高める指導を行った。	63%	31%	0%	6%	94%	6%
14	学校公開、授業参観、保護者会等にできるかぎり参加している。	30%	33%	27%	10%	62%	38%	14	学校から出されている保護者あての配布物等を、毎回、保護者に見せている。	41%	35%	16%	7%	77%	23%	14	授業参観、保護者会等を工夫し、保護者会の理解・協力や参加率が高まるよう努めた。	38%	31%	25%	6%	69%	31%
15	学年だよりや学校だより、学校のホームページを読んだり見たりしている。	32%	36%	19%	14%	67%	33%	15	学年だよりや学校だより、学校のホームページを読んだり見たりしている。	15%	35%	31%	19%	49%	51%	15	だよりや学校のホームページなどで情報発信に努めている。	31%	13%	19%	31%	44%	50%
16	学校は、災害に対する知識や、自分の安全を守るための対処の仕方など確実に身に付けさせるとともに、家庭においても適切な行動選択ができるよう指導に努めている。	22%	48%	21%	4%	70%	25%	16	避難訓練やセーフティ教室(SNS上のマナー)や安全指導日で学んだことを活かし、適切に行動することができる。	36%	47%	11%	7%	82%	18%	16	生徒に交通安全防止や災害から身を守る知識・技能等、確実に身に付けさせることができた。	25%	56%	19%	0%	81%	19%
17	学校は、感染症への予防に努め、その対応は適切であった。	30%	49%	10%	7%	79%	16%	17	手洗い、うがい、規則正しい生活を送るなど、主体的に感染症防止に努めている。	49%	37%	8%	6%	86%	14%	17	生徒に感染症防止について理解させ、適切な行動がとれるよう指導を行った。	50%	25%	19%	6%	76%	25%

今回も見方として、「A 当てはまる」「B だいたい当てはまる」を合わせたものを**肯定的回答**とし、「C あまり当てはまらない」「D 当てはまらない」を**否定的回答**とし、比較検討しました。17 項目中、肯定的回答の平均値は、生徒 76%・保護者 71%・教員 80%で、総合的に三者を比較すると、生徒・保護者より、教員の評価が高く(青色の部分が多い)、教員の指導が自己満足に陥らぬよう厳しい目で生徒の状況をとらえ、自己評価しなければならないという必要性を感じた結果となり、本校としては、貴重な資料となりました。その中でも、**三者とも高い肯定的評価が確認できた設問は、**

### ＜設問 7. よさを認める、10 人権教育・いじめ防止、12. 行事、17. 感染症の予防＞でした。

**7. よさを認める**は、本校の経営方針の一つである「自尊感情の育成」が教員に意識された結果が反映されたこととらえており、**10. 人権教育・いじめ防止**については、道徳の授業や生徒会朝礼で取り上げることをはじめ、人権週間の周知やいじめ防止サミットの開催など高く意識をもたせたからだと感じています。**12. 行事**については、体育祭や音楽会等の中には二大行事に加え、50 周年記念式典への達成感や式典そのものへの成功がそのまま数値としても現れています。**17. 感染症の予防**については、今年はインフルエンザが本校でも大流行しました。健康・安全に直接関

わる内容ですので、引き続き、予防への取り組みを継続して参ります。

**反面、＜設問 5. 家庭学習、6 体力＞は、低い評価**でした。**5. 家庭学習**は、昨今の三中生の課題であり、他の項目に比べても顕著に低い数値が出ています。1 年次から机に向かう習慣づくりの重要性を指摘しているところでもあります。また、学習の仕方や方法(タブレットを活用した自宅学習)など生徒の「家庭学習への意識改革」・教員の「学習習慣確立の指導」がまさに必要であると感じています。**6. 体力**については、昨年と比べると数値は上がってきていますが、まだ低調です。その背景には運動が苦手、不得意と感じる生徒も少なくありませんし、コロナの影響も受けていると思います。コロナが明け少しずつ外に向かうことで体を動かす機会をもてるといいと考えます。学校でも、気力の源となる体力向上に努め、体育祭や学期に 1 回の体力向上チャレンジタイムを設定し、来年度以降も、生徒が体を動かすことに対する興味や関心をひく内容を考え、継続して取り組んで参ります。

お忙しいところをアンケートのご協力をありがとうございました。今回の各項目の数値や学校関係者評価等を踏まえ、改善策を練り、令和6年度の教育課程の編成に活かしていきたいと考えています。今後につきましては、**さらに「安心・安全で認められ、楽しい体験ができる学校」を目指し**生徒と教職員、保護者と教職員、そして教職員間でこれまで以上に信頼関係を構築し、本校の教育活動の充実を図ってまいります。今後ともよろしく願いいたします。

## アンケート



### 保護者アンケート

#### 回収率

	回収数	回収率
1 年	59	82%
2 年	53	74%
3 年	54	86%
計	166	80%

アンケートへのご協力ありがとうございました。